
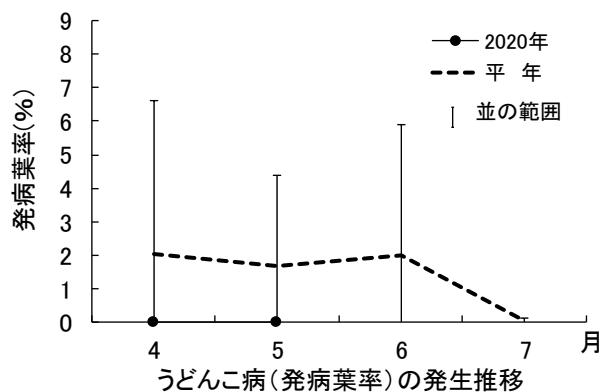


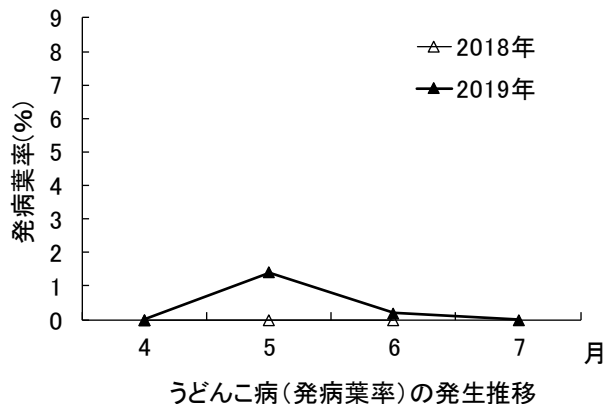
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	① うどんこ病		
予報	6 月の発生量 (平年比)	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗) 収穫期に入り草勢が低下するため	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



・発生ほ場率：0% (平年値：23.5%)

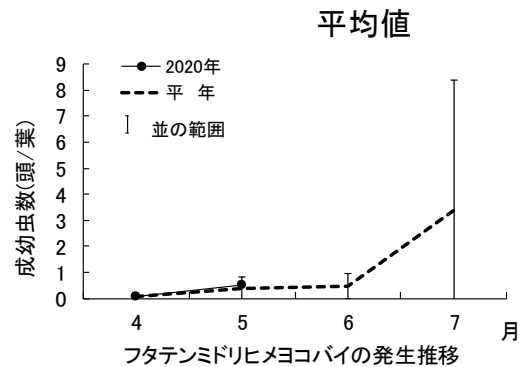
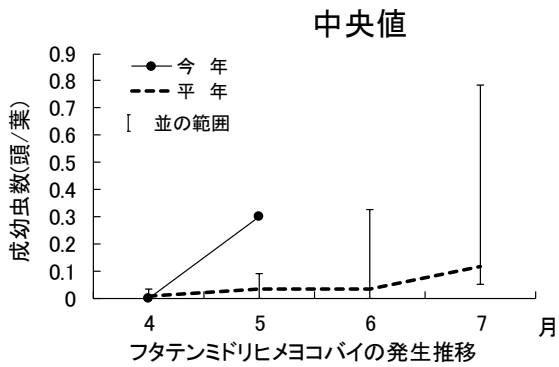
防除のポイント

- ・下位の罹病株や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

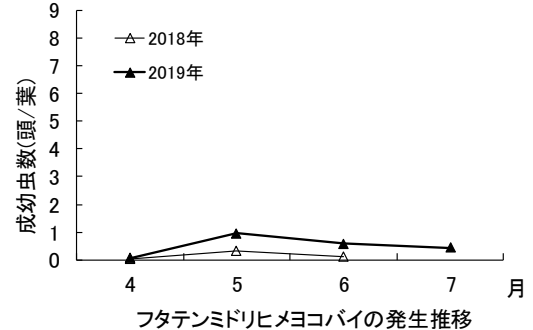
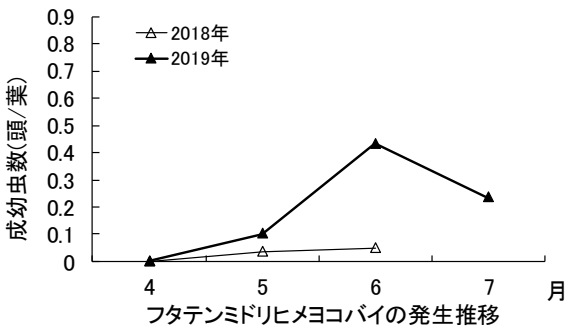
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
予報	6 月の発生量 (平年比)	やや多	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量 (平年比)	やや多	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



・発生ほ場率：100% (平年値：58.8%)

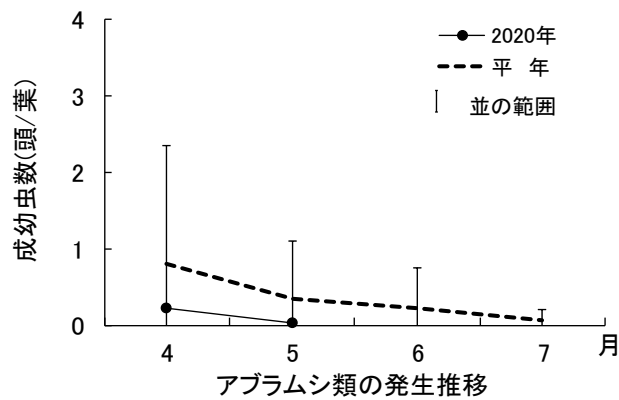
防除のポイント

・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。

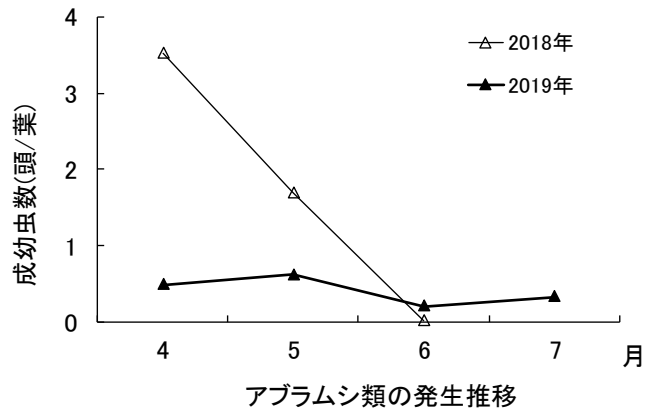
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
予報	6 月の発生量 (平年比)	並	
	5 月からの増減傾向	↓	
予報の根拠	5 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

今年と平年の推移




過去2年間の推移



- ・発生種：ワタアブラムシ
- ・発生ほ場率：60% (平年値：35.3%)

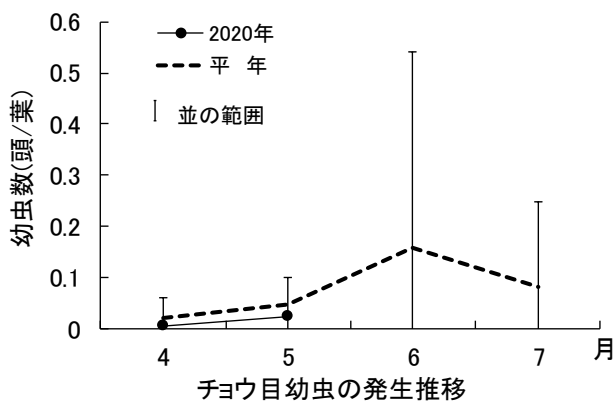
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

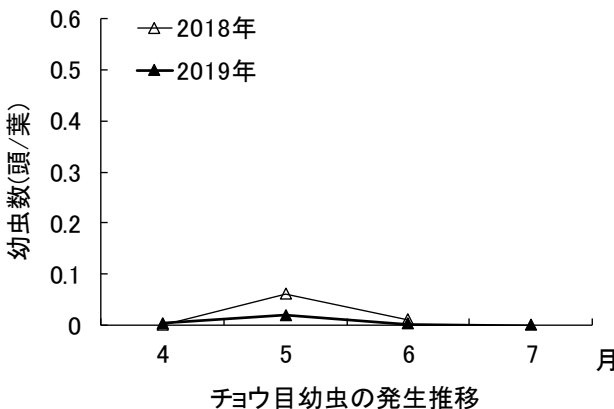
作物	オクラ	地域	宮古群島
病害虫名	④ チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)		
予報	6 月の発生量 (平年比)	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量 (平年比)	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↗)	

調査結果

今年と平年の推移



過去2年間の推移



- ・発生種：ハスモンヨトウ
- ・発生ほ場率：80%（平年値：32.4%）

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・葉裏の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫期のかすり状被害を発見したら、速やかに薬剤を散布する。